



＼ 未来の赤ちゃんのために社会全体で /

風しんにさよならを。

風しんにかかるのはこどもだけではありません。

もし、あなたが妊娠中の女性に風しんをうつしてしまうと生まれてくる赤ちゃんが、

耳が聞こえにくくなる、目が見えにくくなる、心臓に病気があるなど

「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

あなたはいつ、予防接種を受けたか覚えていますか？

予防接種が必要かどうかわからない方は**抗体検査を受けましょう。**

検査の結果、抗体がない場合には、未来の赤ちゃんのために

予防接種を検討してください。

九都県市首脳会議

防災・危機管理対策委員会

新型インフルエンザ等感染症対策検討部会

ホームページ <http://www.9tokenshi-bousai.jp/influenza/>

詳しくは
こちらへ



埼玉県 | 千葉県 | 東京都 | 神奈川県 | 横浜市 | 川崎市 | 千葉市 | さいたま市 | 相模原市

九都県市 

風しんとは？

風しんは感染力が強く、インフルエンザの2～4倍とされています。

特に成人で発症した場合、高熱や発しんが長く続いたり、関節痛を認めるなど、小児より重症化することがあります。

風しんは、風しんウイルスを含んだ飛まつ(咳やくしゃみ、会話、発語などで飛び散るしぶき)を吸い込んで感染します。発症予防には風しんのワクチン接種が極めて有効です。

風しんは子どもの病気と思われがちですが、実は、子どもよりも大人の間で風しんの感染が広がっているため、近年では大人も注意が必要なのです。

先天性風しん症候群(CRS)とは？

免疫のない女性が妊娠初期に風しんにかかると、風しんウイルスが胎児に感染して、出生児に先天性風しん症候群(CRS)と総称される障がいを引き起こすことがあります。

CRSの3大症状は先天性心疾患、難聴、白内障です。

このうち、先天性心疾患と白内障は妊娠初期3ヵ月以内の母親の感染で発生しますが、難聴は初期3ヵ月のみならず、次の3ヵ月の感染でも出現する症状です。

しかも、高度難聴であることが多いとされています。

●CRSの赤ちゃんに見られる主な症状は以下のようになっています。

先天性風しん症候群の 児に見られる主な症状

先天性の眼の病気

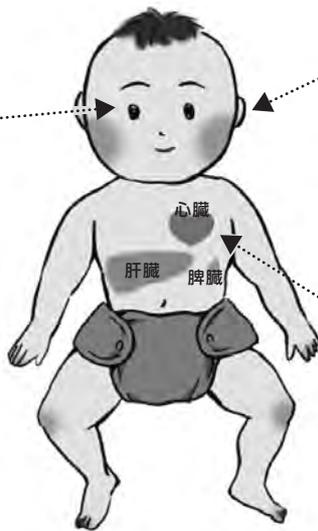
- ・白内障(しょう)
黒目が白く濁って目が見えにくい
- ・網膜症
眼の奥の膜に異常がみられる
- ・緑内障(しょう)
眼の中の圧が高くなる など

低出生体重

小さく生まれる

血小板減少性紫斑病

血小板という血液の成分が少なくなり、紫色の斑点が皮膚にでる など



先天性の耳の病気

- ・難聴
耳が聞こえにくい

先天性の心臓の病気

- ・動脈管開存症
生まれたら閉じるはずの動脈管という管が開いたままになり心臓や肺に負担がかかる など